

文殊谷の隠士



文殊の人で、名は寛、字は士制、号は聖媛、中山、梅邨といった。医理に委しく、経術にも通じ詩文も達者であった。医者の仕事以外に子弟を集めて教授して、文殊旗本陣屋内に仮住まいしていた。頼山陽と親交を結び、その学徳は山陽以上と噂されていた。山陽も聖媛を慕ってわざわざ文殊まで来たこともあった。

聖媛の墓は光照山照空寺西山の中腹に南面して建てられている。